

谷本富 （註） 教育學者、文學博士。慶應二年十月十七日讃岐國高松生れ、昭和二十一年一月一日歿（二六六一九四六）。號梨庵、潮青、蒼涯生等。慶應義塾學校を十五歳で卒業。上京して中村敬宇の同人社で英語を修め、帝國大學文科大學哲學科選科に入り教育學を専攻。同級の大西祝、大瀬甚太郎等。明治二十三年卒業後山口高等學校教授となり、教へ子心上山滿之進、江木實、杉敏介等を擁する、二十六年學校騒動を辭職。次で高等師範學校講師、歐洲留學を経て、二十五年京都帝國大學創設に盡力、二十九年教授となり教育學講座を擔當。大正二年乃木大将夫妻の殉死を批判して非難を浴び依願克官、爾後著述、講演等に従事。

譯書、心、アレキサンダー、グイン著『心理相關之理』（森本確也共譯註、明治二十年十一月大倉書店）。著書、『群衆心理の新研究—附録 豊太郎』（明治四十一年四月十二日六盟館）、『楠公と新教育』（山田都一郎速記、再版・明治四十三年二月二十八日六盟館）、『ポツケット四十七七論』（山田都一郎速記、内題「赤徳四十七論」明治四十三年六月六日大阪・日本四十會 渡邊千城刊、實文館發賣）、『孟子と新教育』（明治四十三年九月十日六盟館）、『倫理研究』（他十二名合著・東亞協會編、明治四十三年十一月二十日弘道館）、『京祖觀』（他十二名合著、明治四十四年四月四日京都・小笠原秀實編刊）、『時代と思想』（大正四年二月二十八日白月社「警世叢書」）、『現代宗教と性慾』（大正七年一月一日、二松堂書店「近代文化講座」）他多數。

